

費用対効果分析の結果

－国営かんがい排水事業「両総地区」－

1. 地区の概要

- (1) 受益面積 : 17,970 ha
 (2) 事業目的 : 用水改良、排水改良
 (3) 主要工事計画 : 樋門 1箇所、頭首工 1箇所、揚水機場 5箇所、用水路 88.9km
 排水機場 1箇所、排水路 5.9km
 (4) 総事業費 180,901 百万円
 うち国営事業費 112,831 百万円
 68,070 百万円

2. 妥当投資額の算定

(1) 年総効果額

(単位：百万円)

効果項目	年総効果額	効果の要因
作物生産効果	781	水田の汎用化による作物別作付面積の増減
営農経費節減効果	2,177	ほ場整備による労働時間の短縮や機械経費の低減
維持管理費節減効果	575	農業用排水施設等の改修、廃止及び新設による維持管理費の増減
更新効果	6,809	施設の改修による現況機能（農業生産）の維持
地籍確定効果	23	ほ場整備による地籍の明確化
計	10,364	
廃用損失額	-	

(2) 妥当投資額

$$\begin{aligned}
 \text{妥当投資額} &= \frac{\text{年総効果額}}{\text{還元率} \times (1 + \text{建設利息率})} - \text{廃用損失額} \\
 &= \frac{10,364 \text{ 百万円}}{0.0544} - \text{百万円} \\
 &= \boxed{190,514 \text{ 百万円}}
 \end{aligned}$$

3. 投資効率の算定

$$\begin{aligned}
 \text{投資効率} &= \frac{\text{妥当投資額}}{\text{総事業費}} = \frac{190,514 \text{ 百万円}}{180,901 \text{ 百万円}} \\
 &= \boxed{1.05} \geq 1.00
 \end{aligned}$$